

未来のための「学び貯金」

～二中校区家庭学習・自主学習ノートの手引き（小学生3～6年生版）～

家庭保存版



小学校入学から中学校卒業までの9年間、子供たちにどのような力をつけたいと思いますか？

木に実っているような力は、社会に羽ばたく子供たちに必ず必要になってくる力です。

最初は小さな芽ですが、「1日分」でも「1文字分」でも、コツコツと「学び貯金」として力を蓄えることが、その芽を大きく育てることにつながります。

ご一読いただき、ぜひ、参考にしていただけたらと思います。

	小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生	中学校1・2年生	中学校3年生
目的	基本的な学習習慣を身につける。	自ら学習に向かう習慣を身につける。	計画を立て、自力で学習を進める。	自ら計画を立てて、家庭学習を実行する。	進路の実現に向けた、自主・自発的な学習をする。
時間の目安	20分～30分	40分～50分	60分～70分	90分～120分	120分～180分
家庭での5つのポイント	① テレビを消して、家族ぐるみでよりよい学習環境を整える。 ② 姿勢や鉛筆の持ち方、整理整頓、次の日の準備を確認する。 ③ 「やったね」「よくできたね」など愛情のあるコミュニケーションを心がける。				
	9年間を見通した家庭学習の確立を 4年生までは家庭での見守りをお願いします。 5年生からは自分で意識するポイントを加えていますので、自分の学びを意識してほしいと思います。		子供のポイント（小学5年生以上） ① 計画を立て、勉強時間を決める。 ② 決まったことを決まった時間に、生活習慣を見直す。 ③ 目標に向かって努力することの大切さを確認する。	④見守りながら、自分にできることが自分でやる。 ⑤時間を意識させ、集中して取り組む習慣をつける。 ① 各教科の宿題を行う。 ② 予習・復習・定期テストに向けた学習を行う。 ③ 小学校・下学年の総復習を行う。	① 各教科の宿題を行う。 ② 予習・復習・定期テストに向けた学習を行う。 ③ 小学校・下学年の総復習を行う。 ④ 受験に向けた学習を行う。

学習するときは…

- 身の回りを片付けましょう。
- テレビやスマホなどを見ながらしません。
- 自分で時間を決めて、終わるまで集中して取り組みましょう。

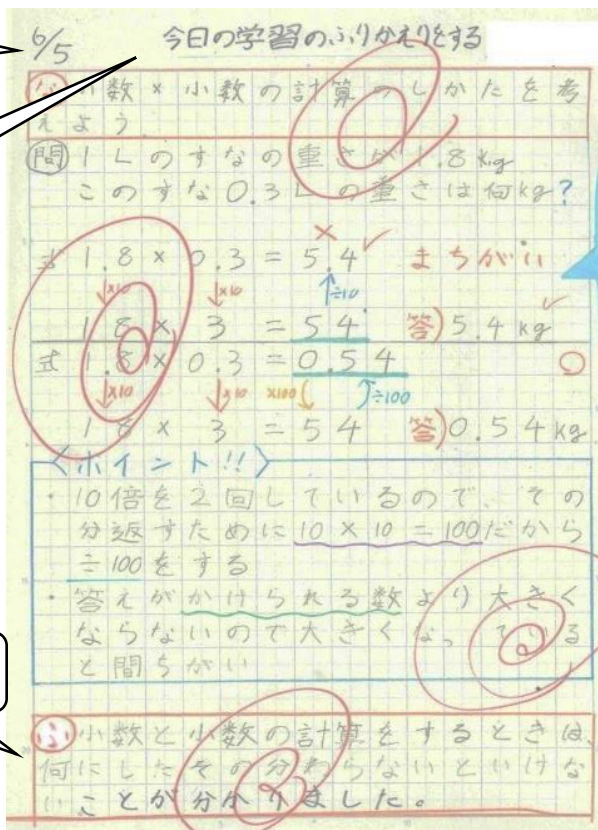
自主学習ノートのきまり

- ていねいな字で書きましょう。
- 丸つけができるものは自分で丸つけをし、やり直ししましょう。
- 「日付」、「めあて」、「ふりかえり」を書きましょう。

② 日付

① めあて

③ ふりかえり



学習内容の例

国語	教科書を見て、大切なところを書きうつす。 漢字の練習をする。 言葉の意味を調べる。ローマ字の練習をする。 テストやプリントのやり直しをする。
算数	教科書を見て、とき方や大切なところを書きうつす。 教科書やドリルの問題をとく。 テストやプリントのやり直しをする。 似た問題をする。
社会	教科書を見て、大切なところを書きうつす。 学習したことを復習する。 自分の住んでいる町・県について調べる。 都道府県名をおぼえる。 もっと調べたいことをまとめる。 テストやプリントのやり直しをする。似た問題をする。
理科	教科書を見て、大切なところを書きうつす。 学習したことを復習する。 もっと調べたいことをまとめる。 テストやプリントのやり直しをする。似た問題をする。
外国語	単語の意味を調べる。 アルファベットや英単語の練習をする。 教科書の問題やテストのやり直しをする。似た問題をする。
その他	新聞やニュースを見て書きうつす。 自分の調べたいことを調べる。 本を読んで分かったことや大切なところを書きうつす。

今日は、「何を」「どのくらい」、「学び貯金」として蓄えられましたか？
今は目に見えないかもしれませんが、今日取り組んだことは必ず未来の自分の力になっています。
これからもぜひ、「学びの貯金」を積み重ねていってくださいね！

